

第7回 高山市平和都市宣言検討会議 会議結果

日 時	平成28年3月11日（金）19:00～21:15
場 所	高山市役所 2階201・202会議室
出席委員 17名 (敬称略)	黒木正之（会長・A班班長）、元伸しのぶ（副会長・B班班長）、 谷口津弥子（C班班長）、平塚光明（D班班長） 小林伸子、高桑眞佐子、岡田悦子、谷口律生、小林 浩、銅島大衍、 堀 泰則（代理者出席）、中澤澄夫（兼 堀委員代理）、住奥久隆、伊藤文子、 糠塚良一、坂本智樹、松原 滋、丸山永二
内 容	<p>○本日の会議の位置づけの確認</p> <p>前回の会議において、4つの班に分かれ、各班で宣言文の案を作成した。それらを2月22日の班長会議において1枚にまとめた。本日は、これをもとに、原案を作成していく。</p> <p>資料3「高山市平和都市宣言文作成スケジュール」</p> <p>○文章作成</p> <p>■班長会議の結果報告</p> <p>どの班の文章も良く考えられていたが、今までの議論がB班の文章に良く反映されていたため、B班の文章を土台とし、他の班のものを取り入れる方法で1枚にまとめた。これが、資料1の班長会議案。</p> <p>最初の2文「高山市は、・・・大切にしてきました。さらに・・・訴えています。」は、高山市の紹介部分。宣言のはじめにあたり、この宣言をするのは、このような風土の中で生活を営み、世界の恒久平和を目指す高山市民であることを記している。</p> <p>次の1文「しかし、・・・現実があります。」は、高山市は世界の恒久平和を目指しているが、世界は未だ平和ではないという現状を記している。</p> <p>次の1文「私たちは・・・行動します。」と3つの行動を記した文「私たちは・・・伝えていきます。戦争と・・・大切さを。」「私たちは・・・守り続けます。豊かな・・・人と人との絆を。」「私たちは大切にします。多様な文化・・・、尊重することを。」は、世界の恒久平和実現に向けた高山市民の行動を記している。</p> <p>最後の1文で、我々の決意を記している。</p>

資料2は、班長会議案の作成の過程。

市の紹介部分は、高山市らしさ、高山市の良さ、厳しい自然、周りとのつながり、人々の営みを入れたい。例えば、雪が降ったときには、隣の家の分まで少し除雪してあげるといった温かいつながりを入れたい。この部分は、大事にしたい。

中段部分は、核兵器とするか、核とするかで議論があったが、核という概念は大きすぎるため、核兵器とした。

実際の行動につながる宣言としたいという思いがあり、「伝えていきます」、「守り続けます」、「大切にします」の3つの行動を挙げている。市民に記憶してもらうため、リズム、口調を整えた。2つ目の、「豊かな自然、誇れる伝統文化、人と人との絆を」は、高山市らしい。3つ目については、多くの方に高山市を訪れていただいているのは、高山市民が、多様な文化を理解し、尊重している結果だと思う。これも引き続き大切にしていきたい。

本日は、この班長会議案をもとに検討し、宣言の原案を作成していく。

■検討

(市の紹介部分)

・宣言文は、子どもも読むもの。あまり難しい文章としない方が良い。長くてもよい。様々な思いは、説明文をつくって示せば良い。形容詞は極力、省き、簡潔な方が子どもたちの理解が深まる。

・飛騨山脈の前に「雄大な」、豊かな自然の前に「厳しくも」を入れるとの意見については、飛騨山脈を子どもたちにイメージさせれば「雄大」と、自然は「厳しい」とイメージしてもらいたい。最初からこうですよと限定するよりも、自身で拡大、イメージできる文章としたい。そういう子どもを育てていきたい。

・「国際観光都市」だけだと、外国人だけと受け取られるため、「国内外から多くの人々が訪れる」を入れる。

・「周りとのつながり」は、人と自然、異文化交流を想起させるので、こども考えさせる良い文言。「おもてなしの心」もここに含められる。

・「さらに、国際平和デー・・・」か「また、国際平和デー・・・」とすべきか。周りとのつながりを大切に暮らしており、さらに「高山市平和の日」を定めて、世界に向けて恒久平和の実現を訴えているということを強調するため、「さらに」とした方が良い。

(3つの行動部分)

- ・3つの行動のところで、「私たちは、〇〇します。△△を」となっているが、普通に、「私たちは、△△を〇〇します」としてはいかがか。
- ・「私たちは、〇〇します。△△を」の方が、この部分を強調できる。この宣言を外国語に翻訳することを想定しても、こちらの方が良い。
- ・3つの行動のところは、子どもたちも唱和しやすいし、理解できると思う。
- ・3つの行動の前後の文をどうするか。簡潔に一文にまとめてしまう方法もある。この場合、3つの行動の前とするか、後とするか。
- ・文章の流れを考慮すれば、現状が良い。3つの行動の前の文章が無い場合、唐突感がある。
- ・最後の文をもっと簡潔にすべきでは。
- ・「決意」という言葉をどこかに入れたい。
- ・「決意」では、単なる思いで終わってしまう感じがあるので、「行動します」の方が良い。

(核と核兵器)

- ・核か、核兵器か。今の時代なら、広い範囲の核を考慮すべきだろう。コントロールできない不安を皆が持っているのが、現状認識ではないだろうか。コントロールできない核への不安について、ふれた方が良いのではないか。
- ・「戦争と核兵器」という文章なので、核兵器とした方が良いのではないか。
- ・日本では、今、不安だが、原発の核は、世界でどう評価されているのか。核の平和利用についても考慮すべきだろう。
- ・平和都市宣言としては、原発まで広げず、明確に核兵器とした方が良いのではないか。
- ・原子力は、現在は問題があると思うが、核の平和利用については、これからどうなっていくのか、判断できない。
- ・市民アンケートでは、平和とは、家族そろって安穏な日々が過ごせることという答えが多かった。だとすると、原発をコントロールできていない現状があり、福島で故郷に帰ることができない現状もある。このことは、「過去に学び、未来に伝えていきます」ということに含まれると理解できるので、核としても良いのではないか。
- ・核がコントロールできていない現状も、勿論、認識すべきだが、核兵器の脅威が増している現状を踏まえ、核兵器と明確にするのが良い。
- ・核として範囲を広げるよりも、ここは、核兵器と明確にした方が良い。

以上の検討の結果、検討会議としての原案を作成。

※最終案ではありません。

○宣言文の題名について

・原案には、平和な日常を守ること、国際交流を推進することなども盛り込まれている。核兵器廃絶に特化した内容ではないため、「高山市平和都市宣言」という、いずれにも偏らない名称が適当。

○その他（事務局より）

・今後は、委員からのご意見を踏まえ、原案に対する市民意見を伺い、その後、最終的な検討会議としての案を作成いただくこととなる。次の検討会議は、数か月先になる予定。